

# スキップ

No.9

2010年8月31日

J R 東海労働組合

秋の闘いシリーズ①

## 庫の温度は最高50℃! 会社はこの現実をわかっているのか!?

JR東海労は、職場の声を141項目に集約して、労働協約・協定改訂交渉を行っています。

連日、記録的な猛暑が続いていますが、新幹線車両の検査を行う検修庫では、気温が常時40℃以上の日が続き、中には50℃に達する日まで発生しています。社員はこのような劣悪な職場環境の下で、制服を汗でぐっしょり濡らしながら、懸命に働いています。

しかし会社は、この現実を本当にわかっているのでしょうか。東京交番車両所では、窓がない箇所やサービスデッキの関係で熱がこもり、熱中症の危険性が高くなっています。大阪交番車両所では、水分補給のための冷水器を撤去しました。更に検修庫には換気装置がありません。大阪仕業検査車両所では、社員の再三の要求にも拘わらず、現在でも点検通路のスポットクーラーが壊れたままです。このような会社の対応を見れば、社員のことなど全く考えていないとしか言いようがありません。

東京交番検査車両所	44℃
東京仕業検査車両所	50℃
三島車両所	42℃
名古屋車両所	48℃
大阪交番検査車両所	46℃
大阪仕業検査車両所	48℃
大阪台車検査車両所	40℃

各車両所最高気温!

## JR東海労の要求はこれだ!

- ・ 検修庫の暑さ対策を明らかにせよ!
- ・ 職場内が30℃以上になる現場に対しては、猛暑手当てを新設し、暦日に付き1,000円を支給せよ!
- ・ 水分補給のための飲料水を全職場に配備せよ!
- ・ 検修庫の抜本的な改善をせよ!

## 会社は社員の要求に真摯に応えろ!

検修庫の暑さ対策を早急にやれ!